

令和7年12月14日実施

令和8(2026)年度 写真学科

1. 小論文・作文問題

写真におけるパブリック性とプライベート性について、貴方はどのように考えますか。

(60分, 800字)

令和八年度(二〇二六年度)試験問題

次の文章を読んで、あなたの考えを述べなさい。

AIを使ってジョブマッチング——。厚生労働省は22日、ハローワークでの求職求人情報の提供などにAI(人工知能)を活用しようと9月から実証実験を始めると発表した。おすめの求人や求職者への条件緩和などを提案し、職員の作業をサポートできるか検討する。

全国10カ所のハローワークの拠点では9月から、相談窓口の職員が、求職者と求人のマッチングにAIを使う。AIが職員に15個の候補を表示し、職員が適切だと判断するものを求職者に紹介。求人を出している企業には、「あと50円時給を上げたら募集が集まりそうだ」などの条件緩和策を職員に提示する予定だ。

ハローワークのインターネットサイトでもAIを「コンシェルジュ」として来年1月から実験的に活用する。求職者情報の登録など操作についてAIが会話によるチャット形式でサポート。適職診断など厚生労働省が運営するサイトも紹介する。

AIが誤った内容の提案をする危険性もあるため、ハローワークのジョブマッチングに関しては、最終的には職員が判断する。個人情報の流出リスクをめぐっては、厚生労働省側は「AIに学習させるのは個人情報を含まない形に処理した情報になる」と説明する。

厚生労働省では、ハローワーク職員の負担軽減や利用者の利便性確保の観点から、2024年からAIの活用策や課題を探ってきた。実証実験を経て、正式運用は最短で28年ごろになる見通しだ。

『ジョブマッチングへ 働くAI ハローワークでの活用向け 9月から実証実験』

二〇二五年四月二三日 朝日新聞・日刊

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 一、〇〇〇字

※時間 八〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和八年度 (2026年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 () 番、() 氏名 () です。

出身は (都道府県名) で、(学校名・学部) に在学中です。

年齢は、() 歳です。

発声 二 【次の文章を朗読して下さい。尚、() 内は朗読しなくて結構です。】

私は、青洲の子を産んだのだ——この事実が大きな自信となり、「もう何に怯えて暮すこともないだろう」「於継も於勝も小陸たちも誰も青洲の子を産むことだけは出来ないのだ」と、彼女は万能感に満たされていました。そんな喜びと自信の絶頂にいる彼女に、於継はこう言い放ちます。

「御苦労さんやったのし、加恵さん。この次には男の子才産んで頂かして、え」

加恵はいきなり氷がふれたようにひやりとした。於継が最初に産んだのは青洲という勝れた代継ぎだったという誇りの前で、加恵の全身に漲っていた歓喜は音を立てて押し潰されていた。

〔「NHK100分de名著 有吉佐和子スペシャル」 ソコロワ山下聖美 著 〕

動作 【次の内容をしぐさのみで表現して下さい。【設定は表現しなくて結構です。】

〔設定〕 昼休み。混雑している学食。

トレーに、メインディッシュの皿、ご飯茶碗、味噌汁のお椀を受け取って乗せる。

給茶器にコップを置いて水を入れ、トレーに乗せる。

汁物に気をつけながら、取っておいた席の場所まで歩く。

汁物に気を取られて、椅子に足を引っかけ。その反動で汁がこぼれる。

テーブルの間を通過して、席取した場所に辿り着くと、知らない人が座っている。

席取りのために置いておいた自分の荷物が無い。座っていた人に聞こうとすると、別の列のテーブルから「こっちだよ！」と友達の呼ぶ声がした。

友達の前へ向かう。

(そのまま退場して下さい)

2026年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻）

編入学・転部試験（2年次）

令和7年12月14日

実技試験問題

〔内容〕 5時間30分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く



〔モチーフ〕

●青リンゴ × 2

●布 × 1

●石膏象（グデア王首像） × 1

●ワイン瓶 × 1

以上

2026 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻）

編入学・転部試験（3年次）

令和7年12月14日

実技試験問題

〔内容〕 6時間 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く



〔モチーフ〕

- バナナ × 1
- 布 × 1
- 石膏象（ドナテルロの少女） × 1
- 縄跳び × 1
- 銀皿 × 1
- ワイングラス × 1
- ワイン瓶 × 1

以上

令和八年度 文芸学科入学者選抜（編入学・転部試験）

作文・小論文問題

■ 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。

（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。）

① 「考えすぎてしまった人」が登場する作文を書いてください。

② 「決断」について自由に論じてください。

◎ 時間 六〇分

◎ 字数 八〇〇字以内

◎ 答案用紙の題名欄の上に、選んだ問題の番号（①か②）を記入してください。

令和8年度 編入転部試験 演劇学科 舞台美術コース プレゼンテーション課題

別紙の戯曲を上演するとして、あなたの考える舞台空間を提案してください。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。

※ 以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※ この用紙は準備時間終了後に、一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

受験番号 _____

氏名 _____



令和8年度 編入・転部試験 演劇学科 作文課題

「舞台芸術の歴史」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。
(600字/60分)

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号 _____

氏名 _____



令和8年度 編入・転部試験 演劇学科 舞台構想コース プレゼンテーション課題

「20年後の私」について、あなたの考えをプレゼンテーションしてください。準備時間は60分です。その後、口述で5分発表をしてもらいます（個別）。

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は準備時間終了後に一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

受験番号 _____

氏名 _____

2026年度

編入・転部選抜 演劇学科演技コース【演技】問題

【問題】

次のシーンを演じてください。

著作権の都合上, 省略。

(トム・ストップワード『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』より)

※ このテキストは持ったままでも構いません。

令和8年度 演劇学科 編入・転部 演技コース（音感・リズム感）課題

1. アカペラで任意の曲を1分間歌う。
2. 自分のテンポを定め、リズムを作り歩く。

楽屋
―流れ去るものはやがてなつかしき―

清水邦夫

女優 A
女優 B
女優 C
女優 D

1

闇。

なつかしい音楽がはじまると同時に、数枚の鏡がきらきら光を放ちはじめる。

鏡がささやく。

「……日々のいのちの営みがときにあなたを欺いたとて、悲しみを又いきどおりを抱かないで欲しい。悲しい日々には心をおだやかに保てば、きっとふたたびよるこびの日が訪れようから。

……こころはいつもゆくすえのなかに生きる。いまあるものはすすろに淋しい思いを呼び、ひとの世のなべてのものは、束の間に流れ去る。そして、流れ去るものはやがてなつかしいものへ……」

2

闇のしじまから、いつの間にか女優A・Bが現われて、鏡に向って、メイクアップをはじめめる。

かなり……熱心にその作業に没入する、女優Aの眼はなぜか焼けただれており、視力は充分ではないらしい。

一方、女優Bののどには、白いホータイが巻かれ、鮮血が滲んでいる。

メイクに没入する二人の姿は、きわめて真剣であり、どこか滑稽でもあり、そしていささか哀しい風情がある。

突然、大きな鏡（姿見）の前に、女優Cが立つ。

女優Cは、「かもめ」のニーナの扮装。手には火のついた煙草。

女優C わたしは……かもめ。いいえ、そうじゃない、わたしは女優。そ、そうよ！

ゆっくりと明りが入る。

と、そこはごくありふれた楽屋。

彼女は出番前のセリフの稽古をしているのだ。

メイクする女優A・Bは、女優Cに全く無関心のように、自分たちの作業に没頭する。

女優C ……あの人が来てる？ ふん、構いやしない、そうよ、あの人は芝居というものを信用しないで、いつもわたしの夢を嘲笑あざわらっていた。それでわたしもだんだん信念が失うせて、気落ちしてしまったの……そのうえ、恋の苦労だの、嫉妬だの、赤ちゃんのことでしょっちゅうびくびくしたりで、わたしはこせついた、つまらない女になってしまって、でたらめな演技をしていたわ。両手の持て扱い方も知らず、舞台上立っていることもできず、声も思うようにならなかった。ひどい演技をやってるなど自分で感じるときの気持、とてもあなたにはわからないわ。わたしは……かもめ。いいえ、そうじゃない、おぼえてらして、

あなたはかもめを射落したわねえ、ふとやってきた男が、娘を見て、退屈まぎれに、破滅させてしまう……そう、ちよつとした短篇の素材……え、何を話してたんだけ？そう、舞台のことだったわ。今じゃもうわたし、そんなふうじゃないの、わたしはもう本物の女優……わたしは楽しく、喜び勇んで役を演じて、舞台へ出ると酔ったみたいになって、自分はすばらしいと感じるの。今、こうしてここにいるあいだ、わたしはしょっちゅう歩き廻って、歩き廻りながら考えるの。考えながら、わたしの精神力が日ましに伸びてゆくを感じるわ……わたしたちの仕事で大切なものは、名声とか光栄とか、わたしが空想したものでなくて、じつは忍耐力だということがわかったの。得心がいったの。おのれの十字架を負うすべを知り、ただ信ぜよ……わたしは信じているから、そう辛いこともないし、自分の使命を思うと、人生もこわくないわ。(聞き耳をたてる) シツ、もうわたし行く、ごきげんよう、わたしが大女優になったら、見にいらして頂戴ね。約束してくださいさる？(架空の手をにぎる) もう夜がふけたわ。わたしはやつと立っているの、精も根も尽きはてて……なにか食べたいわ、(と、化粧台のクッキーをつまむ) いえ、駄目、送ってこないでね、ひとりで行けるから。トリゴーリンに会っても、なにもいわないでね。……わたし、あの人が好き、前よりももっと愛しているくらい、コースチャ！昔はよかったわ、なんという晴れやかな、暖かい、よろこばしい清らかな生活だったんでしよう。優しい、すっきりした花のような感情……おぼえてらっしゃる？……人も、ライオンも、鷲も、雷鳥も、角を生した鹿も、鷲鳥も、蜘蛛も、水に棲む無言のさかなも、海に棲むヒトデも、人の眼に見えなかった微生物も……つまりは一切の生き物、生きとし生けるものは、悲しい循環めぐりをおえて、消え失せた……もう何千世紀というもの、地球は一つとして生き物に乗せず、あの哀れな月だけがむなしく灯りをともしている、今は牧場に寝ざめの鶴なの啼く音も絶えた……あ、いけない、もう出番！

女優C、不意にアエイウエオアオ、カケキクケコカコ……と発声練習して、楽屋をとび出していく。
女優A・Bの表情がはじめて動く。

女優A あたしは……かもめ。

女優B いいえ、そうじゃない、あたしは、女優。そ、そうよ！

女優A あれで四十よ。

女優B 見て、あのバカ、帽子忘れてった。

女優A へえ。

女優B、立ち上って、帽子を持ってくると、自分の椅子の上にポンとおく。

その上に、尻をおろす。当然、帽子は無惨につぶれる。

女優C、あわてて戻ってくる。

女優C (探す) 帽子……帽子……帽子…… (見つけた) あら……

近づいて帽子をとろうとする。

女優B …… (尻に力を入れてふんばる)

女優C どういうこと!?

女優C、さらに力を入れて帽子をひっぱる。

そのとたん、女優B、腰を浮かす。

女優C、勢いあまってよろめく。

女優C もう我慢出来ない。明日から楽屋かえてもらうわ。

女優B どうぞご勝手に。

女優C (二人のいるあたりを睨みつけて) ふん、いつだってこの辺に、なにか腐ったようなよどんだ空気がたまってるとんだから。

と、いい捨てて、女優C、そそくさと出ていく。

女優A 聞いた?

女優B 聞いた。

女優A あたしたちのこと、腐ったようなよどんだ空気だって。

女優B しかもたまってるだって。

女優A そうよ、たまってる。

女優B たまってるはないわよね、なんかみたいじゃない。

女優A なんかって。

女優B つまり……固形じゃないでしょう。たまってるんだから。

女優A いずれにしろ、ムダってイメージねえ。

女優B ムダならいいけど、むしろ有害って感じよ、たまってるんだから。

女優A たまってるにあんまりこだわらないでよオ、だんだんプライドが傷ついていくじゃない……たまたま
ないわ。

短い間。

女優B それにしても、最近はずい分下品な帽子をかぶるのねえ。

女優A それを更に下品にしたの、あんたじゃない。

女優B もっとエレガントなやつをかぶったものだけ、あたしたちがやった頃は。

女優A あたしたちがやった頃？

女優B そうよ。

女優A へえ。

女優B なにがへえよ。

女優A まるで「かもめ」のニーナをやったような口ぶりじゃない。

女優B (傷ついて)前にもいったら、一度だけチャンスがあったんだよ。

女優A 一度だけ？

女優B そういふあなたはどなたのさ。かもめどころか、ホシムクドリ役のチャンスだってなかったんだろ。あんたいつも口癖のようにいつてたじゃないか。ああ、あたしは永遠のプロンプターだった……

女優A ふん、いまのお言葉、そっくりそのままお返しするよ。なんだい、バカにしゃがって、あんたみたいに、あることないことべらべらおしゃべりはしないけど、あたしにだってチャンスはあったんだ、マクベス夫人の役。

女優B へえ、シェイクスピアのマクベス夫人……

女優A そうよ、あれは旅公演の途中だった。たしか瀬戸内海のどこかの町……マクベス夫人がさ、朝ま、まかりを食いすぎちゃって、突然の下痢なの、すごいなのたって、昼頃にはもう危篤状態……

女優B なるほど、当然あなたにチャンスがまわってきた。

女優A あたしは、お守りにしていた笠間神社のお札を出して祈ったわ、早く死ね！早くくたばれ！

女優B ところが夕方になると敵は奇蹟的にもちなおした。

女優A ところがそうじゃないの。

女優B そうじゃない!?

女優A ええ、夕方になると、今度はあたしが猛烈な下痢……

女優B あんたも、まかり？

女優A (うなずく) さけられない運命だったのよ。だって、瀬戸内海へいけば、誰だってまかりを食べるんだから。

女優B きつとあたしもダメねえ、あたしってさけられない運命をさけられたためしがないのよオ。

女優A そうよ、まかりって、とってもおいしいんだから。

短い間。

女優B マクベス夫人か……あんたはいいよ、一度でもチャンスがあったんだから。あたしはなかった。

マクベスの公演には、四十回、いや五十回以上もプロンプターとしてついたらけど。

女優A じゃ、セリフは全部おぼえている？

女優B おぼえてるわよ、なにしろ五十回以上やってんだから……（マクベス夫人のセリフ）……からす鳥の声ま

でしわがれる、ダンカンが私の城へ運命の到来するのを告げようとして。さあ、死をたくらむ思いにつきまとう悪魔たち、この私を女でなくしておくれ、頭のとっぺんから爪先まで残忍な気持でみたくしておく

れ！ 血をこごらせ、やさしい思いやりへの通り道をふさいでおくれ、あわれみ深い人情が訪れて、私の決意をゆさぶり、その決意が恐しい結果を生み出す邪魔をしないように。

女優A ちよっと待ってよ。

女優B なに、せっかく人がいい気持でやってるのに。

女優A ねえ、それ、戦後の翻訳？

女優B 戦後!?

女優A 違うんだよ、あたしの覚えているのと。

女優B どこが？

女優A どこって、あたまっから。

女優B あたまっから？

女優A (ポーズをとる。それもどこかなつかしい) 大鴉おおがらすの声もしわがれて、私のこの城へダンカン王の不祥りんこうの臨幸を啼き知らせる。

女優B 不祥の臨幸!?

女優A さあ、お前たち、弒逆しぎやくの企みに伴ふ靈魔ども、来たりて私を女でなくしておくれ、頭から足の爪先まで、だう猛な残忍な心で一杯にしておくれ! この血を凝らして、気の毒と思ふ心への入口も、通りみちも、ふさいでしまつて、自然にそなはる憐みの情が思はず勃発して。

女優B 勃発!?

女優A この兇悪な目的を動揺させたり、目指す企みとその実行の邪魔をさせてはなりません! おお、人殺しに仕へる者どもよ、私のこの女の胸に来て、乳を胆汁に代へておくれ、お前たちは到るところに眼に見えない姿をして、人間の悪事を幫助してゐるのだから。

女優B 幫助!?

女優A …… (やめてしまふ)

女優B つづけてよ、ねえ。

女優A どうせあたしは古いんだよ、あんたよりずい分年齢としくつてるし……なんたつて、あわれみの情が思はず勃発する時代だからねえ。

女優B (慰めるように) 勃発だつて、それとなく意味は通じるわよ。

女優A それとなく?

女優B まあ、こまやかさには若干欠けるけど。

女優A どうせあたしは、こまやかさに欠けるんだよ、だから、永遠のプロンプターだったんだ。

女優B　すぐこれなんだから。

女優A　扱いにくいと思っただろ、戦前の人間は。

女優B　あんた、永遠のプリンプターなんていうけど、時々は舞台に立ったんだろ、マクベス夫人とか、ニ
ーナとまではいかなくても。

女優A　そりゃもちろん……貴族Aとか伝令2とか門番3とか。

女優B　あら、男ばっかし。

女優A　そうなのよ、なぜか男ばかり……戦争に男優はとられて不足していたからねえ。そうだ、マクベ
スだって、少年の役で何度か出たわ。

女優B　少年の役？　どんなセリフがあった？

女優A　……（いおうとするがやめる）

女優B　どうしたのさ。

女優A　だって、訳が古いから。

女優B　いいじゃないの。

女優A　そういえば、博徒の役でも出たわ。

女優B　博徒ってやくざ？

女優A　そう。三好十郎作、「斬られの仙太」。もちろん、仙太じゃないわよ。

女優B　日本の戯曲じゃない、訳はカンケイないよ。（うながす）

女優A　だって……（突然、孫の手を刀に見たてて、後へまわす）まっぴらごめんねえ、一天四海、盆業渡
世に無え作法だ、無えのを承知でお騒がせしましたこのおいら、逃げも隠れもするこっちやござんせんと

いいてえが、今夜のところあ、逃がしてもらいてえのだ。逃げてえのだ。へい、貸元衆！ お前さんちの前では口はばってえいい草だが、おいら人を斬るのはきれえだ。斬れもしねえ。

女優B ま、かっこいい、それがあんたのセリフ？

女優A いえね、こいつは仙太のセリフ……ねえ、聞いて下すっているかね、貸元衆、おりやあごらんの通り名も戒名もねえ渡り鳥、ホンの昨日今日かけ出しの三下でえす、へい。しかし筑波を荒したのが三下にしる渡世人のはしくれだったと、あとで世間にきこえてみなさんのお顔にかかる心配がありや、ぬすつとにして下すつても結構でがんす。おりやあぬすつとでえす、へい、ぬすつとだ。そのぬすつとも、これだけの金、うぬが栄耀栄華に使おうというんじゃねえ、何十という人の命が助かるのだ！

女優B ねえ、いつでてくるの、あんた。

女優A うるさいわねえ、もうちよつとよ……お願えだ、貸元衆、今夜のところは、お見逃しおたのん申してえ。仕事をすませりや、えり垢あ洗って出直してまいります。おたのん申します。同じ無職ぶしよくの人間が口をきいていると思やあ腹も立とうが、そうじゃねえ、百姓の子が火のつく様に泣いているのだ、みなさん衆の荒みあがり、それもホン一晚のところ、あつしに下すつたと思わねえで、その奴等に恵んでやったと思つて、今日の所あお見逃し下せえ、貸元衆、真壁村の仙太郎、恩に着ますでござんす、へい……待ちねえ、（周囲の殺気に目をくばる）おいら斬りたくねえ、殺生はしたくねえのだ。人を殺したくねえ、きこえねえのか！ とそこへ下妻の滝次郎、ぱつととび出してくる。

女優B ねえ。

女優A やかましいやい！ 仙太郎！ 口がたてに裂けやがったか！ 殺したくねえと？ なけりやこつちで殺してやらあ、それ、ぶつた斬ってしまえ！

女優B それがあんた？

女優A 違うわよ。

女優B じゃ、まだ？

女優A もう登場してるわよ。

女優B え？どこに？

女優A この辺にいるのよ。

女優B この辺？

女優A そう、この辺……下妻の滝次郎と一緒にとび出してきたのよ。ト書でいえば、滝次郎、ぱつととび出す。と同時に博徒七人抜きつれてザザツととび出してくる。みんな歯を喰いしばって無言である。

女優B 無言!?

女優A そう、みんな歯を喰いしばって……でもあたし、仙太や滝次郎にもプロンプつけなくちゃならないのよ、だから、ト書通りにはいかなかったわ。

女優B そりゃそうねえ。(歯を喰いしばって) こうやって、プロンプはつけにくいものねえ。

女優A (夢みるように) けど、あの芝居は好きだった……お薦とかお妙とかすてきな女の役もあったけど、やっぱりぐつときたのは斬られの仙太……

女優B (瞠める) ……あんた、まさか。

女優A まさか、なによ。

女優B そのメイク。

女優A　メイクがどうかした？
女優B　あたしには、ずっと謎だったのよオ。
女優A　だから、なにが。
女優B　あなたの永遠の役。
女優A　それで？
女優B　斬られの仙太？
女優A　よしてよ、あたしこれでも女優だよ、やっぱり女の役がいいよ……そういうあなたの永遠の役は？
女優B　秘密。
女優A　ふん、あたしにはわかってんだ。
女優B　いいえ、わかるもんか。
女優A　ニーナよ、かもめ、凶星だろ。
女優B　凶星なもんか。
女優A　いいえ、さっきの帽子の一件でピーンときたんだよ。まるで冬の底冷えみたいな意地悪さだった。
女優B　違うったら。
女優A　ニーナ！ わがいとしのニーナ……わたしはトリゴーリンです。
女優B　トリゴーリン!？
女優A　ええ、あなたを心から愛し、いとおしく思っているトリゴーリンです。
女優B　やめてよ、気持わりい。男役なら仙太の方がずっといいわよ。
女優A　いいえ、やめません。ただし、多少の翻訳の古いところは許して下さい。ところでニーナ。じつは

思いがけない事情のために、どうやら今日たつことになりそうです。あなたとまたいつお会いできるかどうか。残念です。わたしは長い間、ごくたまにしか若いお嬢さん、しかも若くて美しいお嬢さんに会う機会がなかったもので、なにを話していいものやら……だいいち、十八九の年頃には一体どんな気持ちでいるものか、とんと忘れてしまって、どうもはつきり頭に浮んでこんなのです。

女優B そのセリフ、リアリティあるわ、あんたには。

女優A まじめにやって下さい！ あなただって永遠のプロンプターだったんでしょ、ニーナ。

女優B ああ、すてきな湖……すてきな木立……すてきな大空。

女優A その調子……でもそんなセリフあった？

女優B いいから、好きなどこだけやるんだから……すてきな湖、すてきな木立、すてきな大空……あたし、このほとりに立つと、いつも自然の大きさ、豊かさというものをしみじみと感じるんです。でも、あたし、女優になれるんなら、女優になるためなら、この自然でもどんなものでも敢然と犠牲にするわ。

女優A どんなものでも？

女優B ええ……女優なんて、そんなしあわせな身分になれるものなら、わたしは周囲の人間に憎まれても、貧乏しても、幻滅しても、りっぱに耐えてみせますわ。屋根裏住いをして黒パンばかりかじってもかまいやしない。その代り、わたしは要求します、名声を。

女優A 名声を。

女優B ええ、ホントの、割れ返るような名声を。

女優A ホントの、割れ返るような名声を。

女優B ああ、頭がくらくらする……

2025年12月14日(日)

令和8年度 入学試験課題
演劇学科 洋舞専攻実技試験課題

対 象： 編入学試験

実施日：2025年12月14日(日)

場所：江古田校舎 北棟 第3実習室

実技試験内容

- ① 体の動きによるダンスの適正などをみる。(10分)
(受験生による自由なウォーミングアップ)
- ② 舞踊技術、バランス、リズム感、身体的表現力をみる。(15分)
(振付によるムーブメント)
- ③ 課題に対しての発想力、表現力、空間の捉え方をみる。(15分)
(インプロヴィゼーション)

課題：【浮力】

音楽の中、伝えられたイメージを身体で表現する。

以上

令和8年度編入学・転部試験 放送学科 作文試験問題

作文課題

「一期一会」

六〇〇字

六十分

試験実施日 令和7年12月14日(日)

デッサン（4時間）

用紙：B3画用紙

画材：鉛筆

【課題】

与えられた「PET冷水筒 1.0L」、「毛糸」、「グレーの紙（NTラシャ B4版）」と、「想定 of 球体1つ」をモチーフに、以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフである「想定 of 球体」は、直径10cmとし、質感、色の設定は自由とする。
2. 毛糸は1m程度引き出した状態で配置すること。
3. グレーの紙（NTラシャ B4版）は変形などの加工をせず、そのままの状態でもチーフの下にセットすること。
4. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。
5. 台紙は描かなくてもよい。
6. 配布した白いコピー用紙（A3版）は下書きに使ってもよい。
7. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
8. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション (4時間)

用紙:「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材:鉛筆および色鉛筆

[課題]

**私たちの生活に馴染みがある「体育」にかかわる問題を見つけ出し、
あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。**

「体育(たいいく)」とは、「身体の教育」を意味し、心身の健全な発達を促し、生涯にわたって健康な生活を送るための運動能力や知識、態度を育てる教育分野である。学校の授業だけでなく、年齢を超えた生涯スポーツやリハビリテーションまで幅広い活動を含む。

この「体育」にかかわる方法や環境、器具・用具、服装など様々な観点からどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。

[条件]

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。)
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上